

陸上自衛隊の道場化を推進



第736号
平成29年7月6日

方面総統率方針
任務完遂
方面総監要望事項
使命の自覚
錬磨即応
地域との連携

陸上自衛隊
北部方面隊広報紙
発行：北部方面総監部広報室

北部方面隊
ホームページ
<http://www.mod.go.jp/gsd/nae/>

北部方面隊演習場春季定期整備 道内各演習場で約17000名が活動

北部方面隊（総監山崎陸将）は、平成29年5月10日～19日までの間、北海道内各演習場において、演習場春季定期整備を実施した。

演習場定期整備は、毎年春と秋に実施しており、今春に新編された第3施設団の機械力を最大限に活用し、矢別演習場、北海道大演習場など、道内各地の演習場において訓練最盛期を迎えるに先立ち、その維持・充実を図った。

方面隊の道場、ひいては陸上自衛隊の道場を整備する「道場化」は、全国の部隊が来道し、重戦力を使用した大規模な訓練を行い、自衛隊の実効的な抑止・対処能力を維持・向上させるために不可欠であり、我が方面隊にとって、極めて重要な任務である。

今回の定期整備においては、10日間約17000名の隊員と、車両約4200両が参加し、道場の整備任務を完遂した。



総合戦闘射場の新設（上富良野）



装軌車機動路の新設（北大演）



対人狙撃銃射場の新設（上富良野）



訓練地域の拡大（上富良野）

「万事作戦を基準」「隊務の総合一体化」

北部方面隊は、あらゆる隊務を活用し、部隊の任務遂行能力の向上を図っている。

定期整備の開始式において総監は、「万事作戦を基準として行動し、執念を持って整備目的を達成せよ」、「隊務の総合一体化を具現せよ」、「第一線部隊と後方支援部隊との一体化による連携の強化」、「安全管理及び健康管理の徹底」の4点を要望し、「自らの道場は自ら整備するという信念と、付与された任務は必ず達成するという執念を持って積極的に任務を完遂せよ」と訓示した。

各部隊は、本定期整備においても、整備を任務と捉え、作戦会議の実施、厳正な工程管理と品質管理また、隊務の総合一体化として、零細時間を活用した各種訓練等、部隊ごと創意工夫を凝らし、あらゆる場面を通じて、指揮幕僚活動の実践、部隊の基本的行動・隊員の基礎動作の徹底など、任務遂行に必要な能力を向上させた。



光ケーブルの新設（上富良野）



整備部隊による巡回整備（然別）



砂盤を活用した作業指示（北大演）



作戦会議（北大演）

着隊したあの日から自衛官として大きく成長!!

一般陸曹候補生課程・自衛官候補生課程

北部方面隊は、この春入隊した一般陸曹候補生及び自衛官候補生に対し、約3ヶ月に及ぶ教育を全道各地で実施している。

まだ肌寒かった3月末に着隊し、4月に入隊式を終えた彼らは、その後から一人前の陸上自衛官になるべく、厳しい訓練を日々積み重ね、着実に成長を遂げている。入隊式直後は、まだ学生気分が抜け切らず、落ち着きがなく教官・助教からよく指導を受けていた彼らも、今ではすっかり顔つきも変わり、毎日の体力養成で確実に身体能力が向上し体重も増え逞しい体つきになった。また、団体生活を通して同期との友情を育みながらお互いを尊重する人間性を醸成し、立派な大人へと変貌を遂げた。

高い集中力の中で緊張が頂点に達した初めての実弾射撃、同期と競い合いながら全力を出した体力検定、厳しい規律が求められる行動の基礎となる基本教練、汗と泥にまみれながら地を這い、全力で走破した戦闘訓練仲間と助け合い、励ましあつて踏破した行進訓練など、彼らは、自己の成長をはっきりと感じながら、お互い切磋琢磨し合い、今もおお成長し続けている。

日本の平和を守る大切な力となる彼らの今後の成長が楽しみであり、修了式での雄姿に期待している。



体力検定



銃授与式



実弾射撃



戦闘訓練



厳しい訓練の中でひと時の休憩



アイロンは身だしなみの基本



徒步行進訓練

北部方面音楽隊 第78回定期演奏会

～親しみやすい曲で聴衆を魅了～



北部方面音楽隊(隊長 村田3佐)は、6月11日、北海道教育文化会館大ホールにおいて、第78回定期演奏会を実施した。

演奏会は、2部構成で行われ、1部はクラシック音楽、2部は映画音楽で、楽曲の親しみやすさだけでなく高度な技術

を必要とする吹奏楽曲の醍醐味も味わえる内容であった。

日曜日の午後のおひと時を楽しもうと、約1000名の音楽愛好する方々でホールは埋め尽くされ、素晴らしい演奏に会場からは朝れんばかりの拍手が惜しみなく鳴り響



いた。

演奏会では第2部の指揮者である音楽班長(新田2尉)が自らハーモニカをソロで演奏するなど、指揮だけではなく演奏者としての姿も披露し、観客を魅了した。次回の定期演奏会は来年3月に札幌コンサートホールキタラで予定されている。



心を一つに走りきる



体力の限界まで挑戦

栄光を手に入れる!

2師団・11旅団でレンジャー訓練開始

第2師団(師団長 高田陸将)及び第11旅団(甲斐陸将補)は、第26普通科連隊長(留萌)及び第28普通科連隊長(函館)を担任官として平成29年度レンジャー集合教育を開始した。

第2師団では、資格検査を合格した29名の学生が参加し、5月15日から7月28日までの間、第11旅団では、同じく資格検査を合格した24名の学生が参加し、5月8日から8月10日までの間、レンジャー隊員としての必要な知識と技能を習得する。

「レンジャー」とは、極めて困難な状況においてもあらゆる手段を尽くして状況を克服し、任務を完遂する、類い稀なる能力を持った戦士に送られる称号である。このため、養成訓練においては、己の体力、気力の限界まで挑戦し、極限状態にあつても自らをコントロール

出来る能力を修得する。また、レンジャーの任務は、時に一人の失敗が部隊の任務達成に多大な影響をもたらす可能性がある。個人の能力向上はもとより、隊員相互の団結心を醸成することが、部隊での活動を容易にする。

本訓練に参加する全隊員が、晴れてレンジャーの称号を与えられるよう期待する。

10式戦車を第7師団に配備

情報共有で戦いを有利に！陸自ネットワークと接続可能に

北の守りに更なる戦力

陸上自衛隊は、90式戦車の後継となる最新の10式戦車を、第7師団に配備した。

今回配備された部隊は、北千歳駐屯地に所在する第71戦車連隊（連隊長大北一彦）である。

10式戦車は国産の戦車の第4代目で、北海道では平成25年に初めて第2師団に配備された。90式戦車より機動力の向上のため、小型軽量化されている。併せて射撃能力も向上しており、難しいとされていたスラローム走行中の射撃性能が飛躍的に向上しており、新型のシステムにより友軍相撃や同一目標への射撃を防止しながら射撃することが可能となっている。また、後退速度も向上し前進速度と同速度で走行する事が出来る。他にも各部において機能の向上及び改善がされており、普通科の野外コンピュータネットワークと接続し、普通科部隊と一体化した作戦行動が可能となっている。



訓練展示する10式戦車（北千歳駐屯地にて撮影）



講話する山崎總監

北千歳駐屯地等連絡協議会（会長 千歳市長 山口幸太郎氏）に対する講話を行った。

本連絡協議会は、平成17年に設立され、顧問に北海道知事（高橋はるみ氏）、副会長に旭川恵庭・滝川の各市長及び、美幌町長を迎え、合わせて約180名が加入している。会の目的は、道内に所在する陸・海・空自衛隊の駐屯地及び基地等と地方自治体が連携を図り、共に発展することである。定期総会、各駐屯地等への研修、道内の自衛隊体制維持に関する活動を実施しており、今回の講話には約50名が参加した。

講話は、「我が国周辺の情勢と、平成29年度の北千歳方面の各種活動について」と題して、北千歳方面隊の地位・役割などをわかりやすく説明し、方面隊の活動に対する理解と協力を促進した。また、陸上自衛隊広報ビデオの放映などを交え印象に残る講話となった。

参加した連絡協議会の方々は、北千歳方面隊（山崎陸将）からの説明を熱心に聞き入り、北千歳方面隊に対する理解と協力の資となった。

平成29年度北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会

北部方面總監 部外講話

平成29年度オピニオンリーダー活動

第7師団創隊62周年及び東千歳駐屯地創立63周年記念行事研修



肌寒い天候の中、記念行事開始前の記念撮影



10式戦車を先頭に圧巻の観閲行進

北部方面總監部は、6月3日、オピニオンリーダー活動として、東千歳駐屯地において行われた、第7師団創隊62周年及び東千歳駐屯地創立63周年記念行事を研修した。

本研修は、日本で唯一の機甲師団である第7師団の創立記念行事にご招待し、方面隊の活動や師団の概要を理解していたために例年行っていた。今年度は、雨は降らなかったものの気温が低く寒い中で毛布に包まれながらの研修となった。

観閲式においては、第7師団ならではの多くの戦車等の観閲行進や、今年度から配備された「10式戦車」の紹介、実戦さながらの迫力のある訓練展示を見学し、式典の研修を終了した。

記念行事終了後に、駐屯地体育館において行われた祝賀会食に出席していただき、第7師団を始めとする東千歳駐屯地に所在する部隊長や参加した協力団体の方々との懇談により一層の懇親を深めた。

～心の健康相談室～

(第187回) 人生に潤いを与える言葉

風、疎竹に來たる、
風過ぎて竹は声を留めず。
雁、寒潭を渡る、
雁去って潭は影を留めず。
故に君子は事來たつて
心始めて現われ、
事去つて心随つて空し。

(菜根譚 前集・82)

即ち「風がまばらな竹に吹くと、ひとは風に鳴るが、吹き過ぎると竹は声を留めない。雁が澄んだ淵の上を渡り飛ぶと、ひとは水面に影を落とすが、飛び去ったのは、淵は影を留めない。つまり、道理を心構えた人は、一度（ひとたび）事が起これば全力で対応し、事が終われば、そのことに捉われない静寂な心境にもどるというものです。

大脳生理学者の時夷利彦（東京大学教授）は、この「菜根譚」の言葉は、実に大切な「人間の知恵」ではないかと述べています。

(「人間であること」 p.179)

心の健康相談・メンタルヘルス・カウンセラー

根本和雄



木工係による屋根の補修（施工中）



完成した屋根（施工後）

北部方面隊は、平成20年度からの業務隊の集約整理に対応するため「タクミ事業」を実施している。

本事業は、定員削減により、木工係が各駐屯地1名の配置となったため、近傍駐屯地が相互に協力して自隊施工し、木工技術向上の機会を増やし、さらに経費の効率的な使用も期待できることから積極的に実施されている。

平成28年度は12個事業を実施し、平成29年度においても、逐次各グループ毎に事業が進められている。

主な工事内容としては、「屋根の葺き替え（ふきかえ）」「外壁張り替え」等で、どれも熟練の技が必要であり、本事業の推進により木工の技術の向上や充実の付与にも成果を上げている。

北部方面隊は、今後も「タクミ事業」を推進していくことで、駐屯地整備を推し進め、勤務環境を改善し、駐屯地隊員の勤務意欲向上に資する。

自隊施工により木工技術の向上!!

タクミ事業による駐屯地整備

北の駐屯地 その歩み 第33回 早来分屯地



旧燃料施設

早来分屯地は、千歳市と苫小牧市の中間にある勇払郡安部町早来の市街地から北側へ約4kmに位置する安部町駐屯地の分屯地である。安部町は、チーズ専門工場発祥の地であり全国的にも酪農の草分けとして知られているが、軽種馬(けいしゅば)の生産地としても知られる「早来町」と、鉄道の町として発展し、アサヒメロンと赤いひまわりで知られる「追分町」が平成18年に合併し誕生した町である。安部町早来は、胆振総

合振興局管内北東部に位置し、元スピードスケート選手の橋本聖子参議院議員の出身地として知られる町である。気候は内陸性の気候で夏は気温が高く、冬は厳しい寒さとなるが降雪量は少ない地域である。分屯地は、昭和30年1月に早来町(現安部町)に新設され、第302給油中隊(島松)から移駐して北海道地区補給処早来燃料支処として発足した。その後、新隊舎、体育館などが建設され平成10年に北海道補給処早来燃料支処に改編し、平成

29年11月末に新燃料施設に移行する予定である。現在は、燃料の払出し事務業務等を行う管理棟及び新燃料タンクが完成している。分屯地の所在部隊は北海道補給処早来燃料支処、第313基地通信中隊早来派遣隊と小規模であるが、分屯地司令要望事項「融和団結」の下、毎年6月に開催される安平町牧場めぐりサイクリング大会(安平町内約60kmサイクリング)及び毎年7月第一週土曜日及び日曜日に開催される、町の一大イベントである「安平町うま祭り」(早来和牛やアサヒメロンなど安平町特産品のPR、約1200発の打ち上げ花火に協力する)とともに、隊員及び隊員家族が参加し、祭りを大いに盛り上げ、地元住民との親睦を深めている。これからも、「融和団結」をモットーとし、需品料精神の「真情あふれる支援」及び通信料精神の「常に相互の意思を疎通する」を目指し分屯地隊員が一丸となり任務に邁進していく。



分屯地正面玄関

29年11月末に新燃料施設に移行する予定である。現在は、燃料の払出し事務業務等を行う管理棟及び新燃料タンクが完成している。

平成29年度自衛官等募集案内

募集種目	募集人員 <small>人数は平成28年度</small>	受付期間	
航空学生	海 約70名(女子若干名) 空 約70名(男女区分なし)	7月1日~9月8日	
一般曹候補生	陸 約2,670名(女子約200名) 海 約1,300名(女子約40名) 空 約750名(男女区分なし)	7月1日~9月8日	
自衛官候補生	男子 陸 約6,050名 海 約1,100名 空 約1,450名	年間を通じて行っております。	
	女子 陸 約570名 海 約120名 空 約80名		
防衛大学校学生	推薦 人文・社会科学専攻 約20名 (うち女子約5名) 理工学専攻 約80名 (うち女子約10名)	9月5日~9月7日	
	総合選	人文・社会科学専攻及び理工学専攻 合わせて約40名 (うち女子約5名)	
	一般(前期)	人文・社会科学専攻 約65名 (うち女子約15名) 理工学専攻 約235名 (うち女子約20名)	9月5日~9月29日
	一般(後期)	人文・社会科学専攻 約10名 理工学専攻 約30名 合計約40名 (うち女子約5名)	30年1月20日~ 1月26日
陸上自衛隊 高等工科学校 生徒	推薦	約60名	11月1日~12月1日
	一般	約260名	11月1日~ 30年1月9日

7月1日から航空学生・一般曹候補生の受付開始

「隊員自主募集情報」引き続き提供が必要
平成29年度各種募集が始まっているなか、7月1日より「航空学生」「一般曹候補生」の受付が開始される。特に「一般曹候補生」は、陸上自衛隊で約2670名の募集が必要であり各隊員の協力が求められる。各地方協力本部を主体に積極的かつ精力的な募集活動がなされているが、隊員自主募集情報の更なる提供に期待するところである。昨年度は、北部方面隊

北部方面隊創隊65周年記念行事

平成29年度 音楽まつり 応募受付始まる



※このポスターからもスペシャルムービーを視聴出来ます。

北部方面隊は、平成29年度音楽まつりの応募受付を開始した。本行事は、北部方面隊創隊記念行事の一環として年一回開催される。道内に所在する5個音楽隊、2個太鼓チーム、儀仗よう隊等約250名が参加する。北部方面隊の開催する音楽イベントとしては、最大規模の行事である。内容は、多彩なプログラムで構成されており、吹奏楽ファンならずとも楽しめるものとなっている。今回新しい試みとして、音楽まつりの臨場感を少しでも感じられるよう、下記のQRコードよりスマートフォン等に専用アプリをダウンロードすると、ポスター又はチラシから、約40秒のスペシャルムービーを視聴する事が出来るようになっており、是非多くの方に見て頂きたい。

アプリのダウンロードはこちら

Available on the App Store

GET IT ON Google Play

往復ハガキ記載要領

郵便往復はがき
〒064-8510
札幌市中央区南26条
西10丁目1-1
陸上自衛隊
北部方面総監部広報室
音楽まつり係 行

住所氏名年齢性別電話番号
①住所
②氏名
③年齢
④性別
⑤電話番号
⑥応募のきっかけ(番号を記入)
1:ポスター・チラシ
2:知人からの誘い
3:インターネット
4:その他()

申込者の住所
申込者の氏名

応募要領

- 往復はがきに下記の要領でご記入の上9月15日(金)必着にて応募下さい。
- はがき1枚で2名様までのご応募が出来ます。(2名応募の場合は②~③の内容を2名分ご記入下さい)
- 重複の応募は無効となります。
- 車いす席をご希望の方は⑥の下に「車いす席希望」とご記入下さい。
- 個人情報等は、はがきの返信目的以外には使用しません。
- 応募多数の場合は抽選とさせていただきます。
- ピン・カン・ペットボトルなど飲食物の持込みは固くお断りします。
- 返送は9月下旬から10月上旬ごろになります。

お問い合わせ

北部方面総監部広報室
TEL: 011-511-7116 (内線) 2325

注意事項

記載内容が十分でないはがきは、返信できない場合があります。シール等の貼付けはご遠慮ください。音楽まつりの入場券及び当選はがきは非売品です。賞利目的では使用できません。

北部方面隊

検索



今月の一枚

6月に入り、遠く山々の残雪も融雪が進み、野山には花が咲き、新緑が輝く時期となりました。誰もが待ちこがれていた、北海道の短い夏の訪れです。冬の間白一色の世界から、色鮮やかに姿を現した大地は、大自然の息吹を感じさせ、北海道で最も美しい季節の到来を告げてくれます。先日、大雪山系十勝岳の山開きに、山岳ガイドのボランティアとして参加しました。残雪を踏みしめ、登山客との会話をしみながらの登山は、運動不足の体には少しきついが非常に楽しく、心身のリフレッシュには絶好であると思います。最近では天候不順が続く雨も降らず加えて日照も少ないため、本日に実りの秋が来るのか今から心配です。そんな不安を吹き飛ばすかのように、明るく爽やかな声で挨拶をする新隊員たちがいます。もう「新隊員」という言葉が不適切なほど立派に成長しています。引き続き、明るく爽やかに厳しい訓練を乗り越え、それぞれの配属部隊へと巣立つて行くのを待ちたいと思います。

編集後記